



発行所

和歌山県立きのくに青雲
高等学校 (通信制課程)
和歌山市吹上 5-6-8TEL 073-422-8402
FAX 073-422-4045

文化祭 11月3日(日)

〈プログラム〉

- 9:00 集合 (体育館)・開会式
9:10 人権講演
元 (公財) 和歌山県国際交流協会
外国人生活相談室長
城山雅宏氏
「多文化共生って何?」
10:10 和太鼓部演奏
10:45 ~ 12:20 模擬店 (生徒ホール)
11:00 ~ 12:20 展示作品鑑賞 (3階併教室)
13:00 集合 (体育館)
舞台鑑賞
ジャグリングパフォーマー
ちゃんへん.氏
「あきらめない心」
14:15 生徒会によるイベント
15:00 閉会式
15:30 終了予定

※この日は、校内駐車は禁止です。

※今年度も、本校生徒のみで実施します。

今年度卒業予定の皆さんへ

2 学期も半ばになり、卒業に向けて本格的に取り組む時期に
さしかかってきましたが、学習は進んでいますか。レポート学
習やスクーリングの出席は、年間行事予定表や校報をよく見て、
自分でしっかり計画を立てて進めましょう。

11 月以降の日曜スクーリングは A・B・C・D 型各 2 回ずつ
と特別スクーリング 1 回の計 9 回となっています。そのうち 1 型
(総合探究) は 8 回です。

月曜スクーリングは、「国語」「体育」「情報 I」「情報応用」
が各 3 回、「地歴・公民」「数学」「理科」「英語」「音楽」「美術」
「書道」「家庭」「商業」が各 2 回、「保健」が 1 回になります。

各科目の必要なスクーリング時数を確認して、日曜スクー
リングの時間割の重なりや、月曜スクーリングの時間割を考慮に入
れながら、年度末に慌てることがないようにしましょう。

●レポート・視聴票の提出締切日

令和 7 年 1 月 27 日 (月) 16 時必着

●最終テスト週間

令和 7 年 1 月 26 日 (日) ~ 2 月 2 日 (日)

〈水・土曜日はなし〉

また、卒業までに必要な特別活動の時間数 40 単位時間も充
足されているか、担任の先生に確認しましょう。足りていない
人は、ホームルームだけでなく文化祭や学年行事等にも参加し
て充足させましょう。

11月の予定

日	スクーリング(型)と学校行事
3日	文化祭
10日	学年行事・修学旅行 (~ 11 日)
17日	C 1 型・テスト・進路講演会
24日	D 1 型・テスト
●テスト日は12日(火)~18日(月)、24日(日)、25日(月) <水曜日と土曜日はありません> ●夜間テストは14日(木)<18時から20時まで> ●桐蔭食堂の日曜日の営業はありません。	

◇ B コース (暮らしに役立つ書)

1 班	2 班	3 班	4 班	5 班	6 班
5日(火)	12日(火)	14日(木)	25日(月)	19日(火)	22日(金)

※予定が急に変更されることがありますので、学校のHPをこまめにチェックしてください。

日	1 時限 13:00~13:50	2 時限 14:00~14:50	3 時限 15:00~15:50
18日	国語	情報 I	体育 / 情報応用
25日	書道 / 商業	音楽・美術 / 英語	地歴・公民
●原則として併教室で行います。 ●情報 I・情報応用は 4 階情報処理教室で行います。 ●芸術は各芸術教室で行います。			

スクールカウンセリング

3 日 (日)・17 日 (日)・24 日 (日) 10:30 ~ 11:50 ~ 12:50 ~ 13:50 ~ 14:50 ~
カウンセリングを希望する人は、担任を通じて希望日・時間を予約してください。
きのくに青雲高等学校 (通信制) TEL 073-422-8402

スクールソーシャルワーカー (SSW) 来校日
11 月 3 日 (日)、6 日 (水)、13 日 (水)、20 日 (水) 詳しくは教頭まで

令和6年度近畿地区高等学校通信制生徒生活体験発表大会

10月5日(土)、奈良市にある奈良女子高等学校で近畿各府県の通信制高校で学ぶ生徒15名が集い、それぞれの生活体験をもとに、感じたこと、学んだことを発表しました。

本校からは1A ささんが参加し、奨励賞を受賞しました。

自分を取り巻く環境で

1A



私は中学3年間ほぼ不登校でした。小学2年生の冬から小学校卒業まで習っていたバレーボールを中学校でも続けたくて、バレーボール部に入部しました。少し苦手な先輩もいましたが、みんな優しく一生懸命でした。初めの3週間くらいは楽しくできていました。しかし、だんだんと顧問の先生と合わないと感じるようになり、その頃からバレーボールをするという行為が苦痛になりました。部活動帰りはいつも友達2人

と一緒に帰りました。それも時が経つにつれ2人の背中が遠くなっていきました。気がついた頃には楽しそうにバレーボールをする先輩や同級生、顧問の先生が怖くなっていきました。学校にいる間も家に帰ってからもバレーボールのことが頭から離れず、まともに話ができませんでした。そんな毎日が続き、クラスにもなじめず、「学校に私の居場所はない」、そんな気がしました。私はその生活に耐えきれず、学校に行かないという道に逃げました。

学校のことを考えるだけで涙が溢れて、冷静を保てませんでした。学校に行かなくなつてからは、ただひたすら自室に引きこもりました。嫌なことから逃げたはずなのに、心に空いた穴は塞がらず、一日中布団から出られないような日々でした。そんな生活が半年ほど続き、ようやく少し回復し、部屋から出られるようになりました。久しぶりに外の世界に出て、最初に感じた感情は恐怖でした。道行く人からの視線、話し声、全てが怖く感じました。

それが治り始めたのは中学3年生になつてからです。まだ、学校のことを考えると辛かったですが、怖いという感情は余り湧かなくなりました。同級生達は進路を決め始める時期ですが、私にはそんな余裕はなく、毎日を平凡に過ごすことで精一杯でした。

そろそろ進路を考え出さなくてはいいけないと頭では分かっている体かそれを拒絶しました。周りの人から「高校どうするの?」と聞

かれる度に「まだ決めていない。」と答えました。仕方ないことですが、私はその質問が嫌でした。

そのまま月日は流れ、2月になりました。私もそろそろ決めなければと焦る気持ちで、きのくに青雲高校を漠然と考え始めました。学校というものの自体が嫌いだったので、学校に行く回数が少なくていいえに、無理に人と関わらなくていい、そこに着目してこなら私でも卒業できるかと思いました。

それから少しづつ、ホームベージや口コミ、実際にもらった資料などでこの学校のことを知っていききました。不安はたくさんありましたが、高校卒業資格だけは欲しくて、中学3年生の3月、入学を決意しました。

そして迎えた入試の日。他の人に侮られないように、とても気を張っていました。あの日の私は、きつととても険しい顔をしていました。入試は作文と面接。作文は、文脈はおかしかったかもしれないけれど、書きたいことは十分書けました。問題は、面接でした。中学校の先生が何回か練習してくれ

たので、少しは喋れたのですが、焦っていました。変な回答もたくさんしてしまいました。「日曜日に学校に来られますか。」と聞かれた時「基本、暇なので大丈夫です。」と答えてしまいました。「やつてしまった。」瞬時にそう思いました。せつかくこ

こまではいい調子だったのに失敗してしまつた。それでも、面接官の先生は、私の発言を聞いて笑ってくれていました。その時、少し救

われた気がしました。「私はここにいるのかもしれない。」少しだけそう思えました。

そんな面接を終えた次の日、学校から電話がかかってきて、私は人学式で宣誓することになりました。素直に嬉しかったです。私を認めてもらった、ここに居ていいよと言ってもらえた、そんな感覚でした。

初めて職員室に入った時は、緊張と不安で心臓がバクバクでした。しかし、先生と話しているうちに少しづつなじめてきて、自分の考えた文章を褒めてもらった時には、自分がこの場に居るということが自信になつていました。

自信いっぱい待ち待った人学式。入場前に並んでいる時も緊張はありましたが、心のどこかに少し余裕がありました。そのまま入場し、無事に宣誓まで進み、私は壇上に上り演台の前で、先生に褒めてもらった文章を読み上げました。人前に立つのが久しぶりだったのもあり、結構早口になつてしまいましたが、私の中では満点でした。

中学校の時は、友達をつくれず輪に入れませんでしたが、その失敗を繰り返さないように今回は勇気を出し、自分から積極的に周りの子に話しかけて、たくさん友達を作りました。話しかける前は少し怖かったけれど、話してみると優しくして良い子ばかりでした。

不安なことも、先生や友達に聞くだけで解決できました。今まで極力、自分一人で解決させていたと思うタイプだったのですが、こ

の学校にきてから、人に頼るのも大切だということを改めて学びました。

現在、私がこの学校に入學して約半年が経ちました。毎日があつという間でした。人と関わるのが怖かった私が、先生や友達に会いたいと思うようになっていました。私はこの半年で、人に話しかけること、頼ることができるようになりました。今までの自分ではあり得なかつたくらいに、人と関わることに楽しいと思えるようになりました。周りから見ると小さいことかもしれないですが、私にとっては世界が違って見える出来事でした。

周りの人や環境によつてものの見方や価値観は変わっていくと思います。みなさんも、自分が心地よい、ここにいたいと思える人や場所をたくさん見つけてみてください。今日、私の話を聞いてくれた人、全員の未来がよりよいものになることを願っています。



10% 体育祭

待ちに待った体育祭が本校の体育館で開催されました。

生徒の参加は137名でした。各学年とも積極的に競技に参加し、白熱した対戦が繰り広げられました。優勝は1年生でした。

プログラム

- 1 綱引き (予選)
- 2 とつとこケンケンパ
- 3 つなげ魂
- 4 しっぽ取り
- 5 玉入れ
- 6 綱引き (決勝・3位)



1B

高校に入ってから初めての体育祭で不安もありましたが、参加してみると思った以上に楽しくて笑顔が絶えませんでした。そして、優勝もでき、とても素敵な思い出になりました。私が参加した「しっぽ取り」も面白かったです。個人的には皆が頑張っている姿を応援している時がすごく楽しかったです。来年も、笑顔が絶えずチーム一丸となって大きく印象に残る素晴らしい体育祭になったらいいと思います。



1D

今年は高校初めての体育祭！自分分は生徒会として関係していたこともあり、とても楽しめました。そして迎えた当日、私は「とつとこケンケンパ」に参加しました。普段あまり同級生と絡むことがない中、今日の競技で少し絆が生まれ、もつと皆と話してみたい、仲良くなりたいと思いました。とても楽しい3時間が終わり結果は……なんと優勝！初めての体育祭で経験者の先輩がたくさんいる中、1位を勝ち取れとても嬉しかったです。最高の思い出になりました。



2A

私は、初めて体育祭に参加したのですが、他の学年や同じ学年の方と話す機会ができ、全学年で色々な競技に参加して楽しむことができました。

先生方も生徒と一緒に盛り上がり楽しんでいたのがとても良かったです。来年も、同じように全学年、先生方で楽しみたいです。



2D

体育祭はとても楽しいイベントでした。生徒たちは一生懸命に競技に取り組み、皆が一丸となって応援し合い、とても盛り上がりまりました。

また、生徒会が考案した新しい種目は、元気がいいの応援とともに、チームスピリットが感じられました。

体育祭を通してクラスの人々や他学年の人々とも交流できた良い機会になりました。この経験を次のイベントや学校生活全体に生かしていきたいと思いました。



3A

今回の体育祭は、この学校に入ってから2回目でした。日頃の授業などで関わることのなかった人や、他の学年の人々とも交流できてとても良い経験になりました。自分が出ない種目でも観戦するのが楽しかったです。

先生方をはじめスムーズに準備していただいたこと、無事に終わることができたことに感謝しています。ありがとうございました。

3D

今回の体育祭は晴天にも恵まれて過去最多の137人という規模で開催されました。137人の大人数なので「綱引き」や「玉入れ」などの団体競技は大変迫力があり、見るのも参加することも楽しかったです。

僕は個人競技の「とつとこケンケンパ」に参加し、順位は4位という残念な結果になりましたが、個人的には楽しく競技に取り組みました。体育祭を楽しむことができました。



4A

私は今回初めて体育祭に参加しました。

日頃関わることのない方や学年の人々と交流ができて、とても楽しかったです。

みんな力を合わせて「玉入れ」では1位を、「綱引き」では2位をとることができました。総合1位を取ることはできなかったけど、みんなが力いっぱい楽しめて良かったです。

4C

今年度の体育祭に参加して感じたことは、去年参加した時よりも人数が多かったこともあり、熱気は今まで参加していた時よりすごく感じられたように思いました。その分、体育祭らしく元気に競えたなと思いました。

4年生は総合1位にはなれず、悔しくはありましたが、楽しくやりきれたと思います。

インタビュー

校長 宮本 裕司



本校の印象はいかがですか。

教諭時代は一つの工業高校で26年間勤務していました。県内の工業人を育成する高校で頭髪や服装、遅刻や欠席の指導については厳しい学校でした。

それに対し、本校は制服はなく、頭髪も自由、欠席という概念は無く、自分で計画したスクーリングに出席するというスタイルで、全く反対の学校であると感じたのが第一印象でした。

更に不登校や挫折を経験した生徒、育児や仕事を抱えながら学ぶ生徒など、全日制の生徒とは異なる目標や目的を持った生徒たちが通っており、自分の考えをしっかりともっていると感じました。

1人1台のタブレットは使っていましたか。

幼い頃はジェット機のパイロットに憧れており、中でもジェット戦闘機のスタイルや敏捷な動きが大好きでした。大空を駆け巡るこへの憧れは今もかすかに残っています。

教員になろうと思ったきっかけをお聞かせください。

中学3年生の頃、担任の先生に「君は教師に向いている」と言われたことで意識しはじめたことが始まりです。

その後、建築士の道も考え、大学も工学部に進んだのですが、自分の適性や両親との同居などを総合的に考え、工業科の教員の道を選びました。

学生時代の思い出などをお聞かせください。

小中学校は野球、高校は陸上競技の中長距離選手で運動部が中心の生活でした。

その反動か大学ではバイクでのツーリングや旅行にはまっていた。工学部の建築学科だったのですが、1か月に1回設計課題が出され、その課題をこなすため、提出期限の1週間前から毎日徹夜に近い日々を過ごし、提出後に得られる開放感で、週末に同じ建築学科の友人たちと有名な建築物や町並みを見るため、周辺の町々へバイクでツーリングに行くことが楽しみでした。

また、アルバイトでお金を貯め、年に1回、沖縄などにスキューバダイビングに行くことも大きな楽しみでした。この頃にオンとオフの切り替えの大切さを学びました。

教員生活で印象深かったことなどをお聞かせください。

教員時代の思い出は語り尽くせないほどありますが、昨年、校長に昇任して間もない頃、最後に担

任を受け持ったクラスの生徒たちが「お祝い会」を開いてくれたことをあげたいと思います。その会に集まってくれた卒業生はどちらかというとやんちゃで手がかかった生徒たちが多く、2人の卒業生から「宮本先生が担任だったから私たちが卒業できたんです。そうでなければ学校を辞めていたと思う。」とお世辞だとわかっていても嬉しい言葉を聞かせてもらいました。

更に嬉しかったことは、在学中、生徒指導上の問題を起こして進路変更した生徒も来てくれ、当時の私の対応に感謝の気持ちを聞かせてくれたことでした。

その年は初めて学科長となつた年で、学科改編と新校舎建築とが重なり、通常以上に科長業務が多忙でした。そのため本来は私が担任をする予定ではなかったのですが、諸事情により急遽3年担任を兼務することになりました。

趣味は何ですか。

趣味は写真です。

こどもが生まれた時にこどもの記録写真を残そうと思って始めたのがきっかけでしたが、その後趣味として大きめのめり込んでしまいました。スナップやポートレート、ネイチャーなどの分野の写真を撮っていました。コンテスト等でも最優秀賞を何度か頂いたことがあります。

また、教諭時代のほとんどが写真部主顧問をしており、8年連続で全国高等学校総合文化祭に県代表として出場に導いたこともあります。

ちなみに本校校報『陵雲』10月号の表紙の金剛峯寺蟠龍庭と今月号表紙の体育祭の写真は私が撮影したものです。

休日どのように過ごされていますか。

隔週で指圧マッサージなどに行き、身体メンテナンスをしたり、Netflix等で映画を観て心のメンテナンスをしたりしています。あと、年に数回家族で温泉旅行に行くことを仕事への活力にしています。

生徒に伝えたい言葉があればお聞かせください。

名言ではなく、ありきたりなことですが、「オンとオフの切り替えを大切にし、今しかできないことに精一杯取り組もう」です。

常に理想や、夢に向かって全力投球ではなく、時には全く別のことに切り組んだり、心を空にして気持ちを切り替えたりすることが、より目標達成には近道となることがあると思います。但し、何も始めなくては何も生まれません。あくまでもオンがあつてのオフです。

そして物事には優先順位があり、一度に多くのことに挑戦しても二つも達成できないことがあります。今何が必要で何から取り組むことが優位に働くかを考え、計画を立てて取り組んでください。今という時はもう戻らないのだから。

保護者懇談月間

9月1日から30日にかけて保護者と担任で個人懇談を行いました。

42名の保護者の方に来ていただき、生徒の学校や家庭での様子、学習進捗状況、進路等について懇談することができました。

家庭と学校をつなぐ貴重な時間となりました。

令和6年度第70回和歌山県高等学校定時制通信制

生徒作品展示会

11月9日(土)、10日(日)

和歌山県勤労福祉会館「プラザホープ」

定時制・通信制の生徒が作成した芸術作品を展示します。

ぜひ、見に来てください!!



秋の学年行事 11 月 10 日

学年	集合時間	集合場所	行き先
1 年生	10 時	県立自然博物館 入口前	和歌山県立自然博物館 黒江の町並み 海南 nobinos (ノビノス)
2 年生	9 時	南海和歌山市駅 改札口前	和歌山市立博物館 和歌山県立博物館
3 年生	9 時 10 分	南海和歌山市駅 改札口前	和歌山市立博物館 加太方面 (加太駅から淡嶋神社)
4 年生	9 時	J R 湯浅駅 改札口前	湯浅町伝建地区 (角長職人蔵・甚風呂・旧栖原家等) 稲むらの火の館 (濱口梧陵記念館・津波防災教育センター)

伝建地区: 重要伝統的建造物群保存地区

「和歌山にこだわる!」自然や生き物、都人憧れの参詣道・和歌の浦の展示、加太さかな線とレトロな町並み、醤油醸造発祥地の伝建地区等々。今年も、学年それぞれに素敵な内容が予定されています。秋の一日、仲間と一緒に和歌山の魅力再発見の小さな旅に出てみませんか。

※詳細は校報 10 月号に同封した各学年の実施要項 (裏面も含む) を確認してください。

修学旅行 11 月 10 日～11 日

集合日時 11 月 10 日 (日) 7 時 50 分

集合場所 J R 和歌山駅東口

宿泊施設 グランドメルキュール淡路島リゾート&スパ

行き先

イングランドの丘 (昼食) 淡路人形座 (観劇)

大塚国際美術館 (見学)

ウェルネスパーク五色「夢工房」(陶芸体験)

のじまスコラ (昼食) 北淡震災記念館 (研修)

希望者が多数集まりましたので、本年度、修学旅行を実施します。参加生徒には「修学旅行のしおり」を配布します。体調を整えて、楽しみながら事前学習と準備をしていきましょう。

修学旅行は隔年実施です。次の案内は、令和 8 年度の予定です。

進路講演会

日時	11 月 17 日 (日) C 1 型	15 時 10 分～16 時 00 分
場所	合併教室 (予備室: 303 または 302)	
講師	d-career ディーキャリア和歌山オフィス より	
目的	将来の生き方、職業選択について向き合い、社会に出ることに前向きな思考を養う。また、自己肯定感や他者理解へとつないでいく。	
時間認定	総合探究 A B C のうちいずれか 1 時間、または特別活動 1 時間を認定します。	

※状況によって形態や内容を変更する可能性があります。

在籍期間のお知らせ

本校の在籍期間は 8 年間です。平成 29 年度入学の皆さんは、今年度末で学籍がなくなりますので、学習を続けたい人は担任に相談してください。

第 2 回 進路説明会 報告

令和 6 年 9 月 1 日、第 2 回進路説明会が「就職の部」「進学部の部」に分かれて実施されました。

参加者は、就職の部が 31 名、進学の部 (在校生対象) が 19 名、進学の部 (卒業予定生対象) が 19 名、総計 69 名の参加でした。

就職の部

6 月の第 1 回進路説明会では、高校求人と一般求人の特徴、就職活動の進め方、求人票の見方等について、就職に関する全般的な説明が行われました。今回は、それらを簡単に振り返った後、就職活動を進める手順、そして、特に履歴書の志望理由の書き方を中心とした内容でした。

まず、履歴書の志望理由欄については、限られた枠内に、志望理由をはじめ、やる気や熱意をどれだけ具体的に詰め込むことができるかがポイントであるとし、具体的な文章が多いなどといった悪い例を挙げ、それらの問題点を解決したものに仕上げるという趣向での説明でした。

そして、企業が特に求める人材は、「コミュニケーション力の高い人」ということにも触れ、「コミュニケーション力」を養うための第一歩として、しっかりと元氣よく挨拶をしようと呼びかけました。人それぞれの特長もあるので、小さくてもいいから、自分なりの一歩を踏み出す勇気を持つてみてはどうかという内容でした。

進学の部 (在校生対象)

受験校を決めるポイントや入試パターンの概要、学部・学科、分野とそこで学べること等について説明しました。

受験校を決めるポイントは、自分の興味関心と適性、将来の職業との関連などで、進路決定までに十分な自己分析が必要となります。特に進学後に学業を継続する上ではその分野についての興味が重要です。また、上級学校を卒業したかどうかの資格 (または受験資格) を得られるのかも重要です。このためインターネット、オープンキャンパス等により上級学校の情報収集を十分に行ってください。

学校推薦型選抜や給付型・無利子貸与型の奨学金 (日本学生支援機構) の推薦には一定以上の「評定平均値」が条件になるので、1、2 年生の時から成績がよい良い評定になるように学習を進めてください。

進学の部 (卒業予定生対象)

卒業予定生対象の進路説明会は、学校推薦型選抜 (公募・指定校)、総合型選抜、国公立一般入試・私立大一般入試の主なスケジュールなどについて、より具体的に詳しい説明をしました。

それぞれの入試形態の特徴と受験生自身の得手不得手を考慮して、自分に合った受験スタイルを選択することが受験を有利に進めるポイントの二つとなっています。

なお、指定校推薦については、第 1 回の校内申込期間が過ぎても、まだ出願に間に合う上級学校については、申込みがあり次第校内選考を行います。

11月 日曜スクーリング・テスト 連絡掲示板

スクーリングに出席する際には、レポート・教科書・学習書・筆記用具・生徒証明書を必ず持参しましょう。

の科目は1日に2回スクーリングを受けることができます。

テスト実施日時 ※新たな科目のテスト受験受付は、テスト終了時刻の50分前までです。

	実施日	実施時間
平日	12日(火)・14日(木)・15日(金)・18日(月)・25日(月)	9:00～16:00(受付は15:10まで)
1型	17日(日)・24日(日)	9:00～16:00(受付は15:10まで)
夜間	14日(木)	18:00～20:00(受付は19:10まで)

11月17日 C1型スクーリング

1	2	3	11:50 12:45	4	5	14:40 15:05	6
9:00～9:50 音楽Ⅱ・美術Ⅱ・書道Ⅱ 暮らしに役立つ書	10:00～10:50 音楽Ⅱ・美術Ⅱ・書道Ⅱ 暮らしに役立つ書	11:00～11:50 音楽Ⅰ・美術Ⅰ・書道Ⅰ		12:45～13:35 現代文B	13:45～14:35 日本史B		15:10～16:00 進路講演会 (合併教室)
文学国語	地理総合	国語表現	昼 休 憩	地理探究	化学基礎	H R ・ 清 掃	
倫理	科学と人間生活 1・3年生	地域学習		科学と人間生活 1・3年生	地学基礎		
地学基礎	論理・表現Ⅰ	生物基礎		コミュニケーション英語Ⅱ	英語コミュニケーションⅡ		
英語コミュニケーションⅠ(1)	フードデザイン	英語コミュニケーションⅡ(2)		簿記 財務会計Ⅰ	英語表現Ⅰ		
論理・表現Ⅱ		ビジネス基礎			家庭総合(1) 調理実習		

<連絡事項>

美術Ⅰ・美術Ⅱ 各自の進度に応じて準備してください。

書道Ⅰ・書道Ⅱ 書道の用具(大筆・小筆・半紙・墨)を持参してください。忘れた場合は出席できないので注意しましょう。

暮らしに役立つ書 書道の用具(小筆・半紙・墨)を持参してください。忘れた場合は出席できないので注意しましょう。

科学と人間生活 A型・C型スクーリングは1・3年生が対象です。2・4年生は出席できないので注意しましょう。

家庭総合(1) 調理実習は事前申込みをした生徒のみ出席できます。

11月24日 D1型スクーリング

1	2	3	11:50 12:45	4	5	14:40 15:05	6
9:00～9:50 古典探究 古典B	10:00～10:50 体育(実技)	11:00～11:50 体育(実技)		12:45～13:35 保健	13:45～14:35 体育(理論)		15:10～16:00 総合探究
数学Ⅰ(2)	現代の国語	政治・経済	昼 休 憩	言語文化	公共	H R ・ 清 掃	
科学と人間生活 2・4年生	日本史探究	地理B		応用国語	数学Ⅱ		
保育基礎 子どもの発達と保育	世界史探究	数学Ⅰ(1)		歴史総合	物理基礎		
情報Ⅰ	数学A	科学と人間生活 2・4年生		数学B	情報応用		
	情報応用	家庭総合(2)		数学の広場			

<連絡事項>

科学と人間生活 B型・D型スクーリングは2・4年生が対象です。1・3年生は出席できないので注意しましょう。

体育(実技) スポーツウェア・体育館シューズを持参してください。忘れた場合は出席できないので注意しましょう。

体育(理論) 教科書・学習書を持参してください。視聴票を含め、1単位5時間につき2時間までの認定です。

情報応用 USBメモリを持参してください。

<総合探究のテーマ>

A 日本の伝統文化 B 生物の多様性と環境 C 図書館へ行こう(図書館で行います。事前申込みをした生徒のみ出席できます。)

学校敷地内及び学校付近は

喫煙できません。

特に学校付近での喫煙は、
近隣住民の皆さんに迷惑となります。



きのくに青雲高校生以外

学校敷地内立入禁止



スクーリング登校時には必ず

「生徒証明書」を持参しましょう。

*スクーリング・テスト受検時には机の上に置きましょう。
*忘れた場合は担任に「仮生徒証」を発行してもらいましょう。



自転車に乗るときは安全のために

ヘルメットをかぶりましょう!

事故の被害を軽減することができます。
ヘルメットは、正しく着用しましょう!

